

自然教室チームだより

3月の自然観察会 「春のならやまを楽しむ」実施報告

3月10日本年度第2回目のならやま自然観察会を実施しました。23名の参加者がパトロール班の皆さんの道案内で、3班に分かれて春のならやまを楽しみました。

歩いたコースはベースキャンプ⇒学びの森⇒見晴らしの辻⇒鳥観の出合⇒赤岳⇒コシダの辻⇒オオタカの出合⇒谷の出合⇒赤岳口⇒佐保自然の森⇒竹の子平⇒遊びの森出合⇒つつじの道⇒ビオトープ⇒ベースキャンプでした。

「ならやまの奥の道を初めて歩いた」、「観察路が整備されており分かりやすかった」、「こんなに整備され安全上問題が無いようだから、もっと山に入り自然を楽しむようにしたらよい」などといった感想がありました。

歩きながら随所に今咲いている花々、出番を待つ草木の姿、そして秋の名残などを見つけて楽しく観察をしました。

そうした中6つのポイントで植物やビオトープの生き物のインプリ(=説明)がおこなわれ、担当者の説明に感心しながら聞き入りました。

サカキとヒサカキではその違いに「納得!」、クロモジでは黄色い小さな花を咲かせている姿に「がんばれよ!」、アセビでは可憐な花がいっぱいなのに毒があるとのことで「その蜜はなめられるの?」と素朴な質問、ヤマコウバシではまだ落ちずにがんばっている葉っぱが受験のお守りに使われるとのことで「うちでも今度使おう!」、ビオトープの生き物の説明では思わず「かわいい!」の声、ミツマタでは他所からいただいてきたという今咲いている実物の花に「すごい!」などといった賑やかな感嘆の声が上がりました。

インプリについては「とてもよく分かった」「五感に訴えての



説明が良い」「よく調べて準備されており感心した」などの感想があり、好評でした。担当した方々も参加者が熱心に聞いてくれ、また質問をしてくれるなどとても気持ちよくできたと喜んでいました。

午後の自然遊びではニッケイの葉の香り、ヤマモモの葉巻笛、堅い葉と柔らかい葉を組み合わせた

笛、アラカシの葉のトンビ、イヌマキの葉の手裏剣などを

楽しみましたが、天候が急変し雪が激しくなったため、途中で切り上げました。

参加したみなさんは殆どの方が「とても楽しかった」との感想を述べておられました。「できればいろいろな季節を通してこうした自然観察会ができるとうい意見もありました。(倉田 晃)



4月の自然観察会のお知らせ 「万葉の苑」の自然観察

自然教室チームでは4月の打合せ会終了後のひと時を鴻池運動場にある「万葉の苑」で自然観察をして過ごします。

自然観察に興味のある方はご参加ください。

1. 日時：4月15日(火) 13時~15時の予定
2. 集合：奈良市ボランティアセンター入口前
12時50分集合
3. 持参物：飲み物、ルーペなど自然観察用具
4. 担当：倉田 晃

4月のアースデー 2014 in なら 自然観察会について

1. 日時：4月20日午前11時と午後1時
2. 場所：明日香村 石舞台近辺
3. 内容：「植物はすごい!!」をテーマに植物の不思議を自然教室チームで案内する。
4. 参加希望：当日現地にお越しください。